



さあ、答え合わせをしよう！

第25週目 1/4行ってみよう～千葉県(ちばけん)からの出題

※ココを見てね! ▶行ってみよう～千葉県(ちばけん)

1. 千葉県(ちばけん)は、あるものに囲(かこ)まれた立地(りっち)が特徴(とくちょう)です。それは、何でしょう？

正解:①海

千葉県(ちばけん)は、東京湾(とうきょうわん)と太平洋(たいへいよう)に囲(かこ)まれた半島です。正解は①海ですね。ネギ、ほうれんそう、さやいんげん…など、全国でも有数(ゆうすう)の農作物(のうさくもつ)の産地(さんち)として知られています。なかでも、落花生(らっかせい)は、国内産の約8割が千葉県(ちばけん)で作られています。ゆっくりと自然乾燥(しぜんかんそう)された落花生(らっかせい)は、味の良さで多くのファンに支(ささ)えられています。

2. 縄文時代(じょうもんじだい)の遺跡(いせき)で、全国第1位の数が見つまっているのは、次のうち、何ですか？

正解:②貝塚(かいづか)

温暖(おんだん)な気候(きこう)と海の幸に恵(めぐ)まれた千葉県(ちばけん)には、大昔から多くの人々が暮(く)らしていました。正解は、②貝塚(かいづか)です。その数第1位の739カ所、国内の約2割が千葉県(ちばけん)に集中(しゅうちゅう)しています。とりわけ有名(ゆうめい)なのは、日本最大級の縄文貝塚(じょうもんかいづか)として教科書(きょうかしょ)にもでてくる、加曽利貝塚(かそりかいづか)です。くわしくは、遺跡(いせき)のページで見てみてね。ちなみに、「古墳(こふん)」が一番多い都道府県(とどうふけん)は兵庫県(ひょうごけん)で、18,851基(き)です。

3. 川焼台遺跡(かわやきだいいせき)からは、小さな銅鐸(どうたく)が2つ見つかりました。何時代のものですか？

正解:③弥生時代(やよいじだい)

「銅鐸(どうたく)」は、弥生文化(やよいぶんか)の代名詞(だいめいし)といわれるものです。そう、正解は③弥生時代(やよいじだい)。川焼台遺跡(かわやきだいいせき)から出土(しゅつど)したのは、青銅製(せいどうせい)の小型の銅鐸(どうたく)で、高さ6.8cm、幅4.8cm、身の厚さ1.5~2mm、重さ44.5g。弥生時代終末期(やよいじだいしゅうまつき)に作られたものです。アーチ状の吊り手(つりて)はすりへって中ほどが細くなっており、ひもを結び付けて使われたことがわかります。表面(ひょうめん)に描(えが)かれた文様(もんよう)や絵画(かいが)から、実用品(じつようひん)ではなく農業(のうぎょう)に関(かか)わる祭りやまじないに使われたものだと考えられているよ。

4. 二子塚古墳(ふたごづかこふん)から出土した「石枕(いしまくら)」の文様(もんよう)は、次のうち、どれですか？

正解:②直弧文(ちよっこもん)

日本古来(にほんこらい)の文様(もんよう)には色んな種類(しゅるい)があります。正解は「お宝ベスト5」4つ目にある通り、②直弧文(ちよっこもん)です。「直弧文(ちよっこもん)」は直線(ちよくせん)と弧線(こせん)を組み合わせたものです。ちなみに、「菱形文(ひしがたもん)」で有名(ゆうめい)なのは、熊本県山鹿市(くまもとけんやまがし)のチブサン古墳(こふん)。赤、白、青にぬり分けられた、美しく迫力(はくりょく)のある壁画(へきが)を見ることができます。「蕨手文(わらびてもん)」とはわらびを2つ背中合わせに組み合わせた形で、渦巻(うずま)きであることから、呪術(じゅじゅつ)を意味(いみ)すると言われています。

5. 有吉南貝塚(ありよしみなみかいづか)から見つかった「腰飾り(こしかざり)」は、骨(ほね)で作られたものです。何の骨(ほね)？

正解:②クジラ

有吉南貝塚(ありよしみなみかいづか)は、村田川が流れる谷からわかれた2つの谷に挟(はさ)まれ田立地(りっち)で、標高(ひょうこう)約40mの台地(だいち)の上にあります。大小8ヶ所の貝層(かいそう)が円形に連(つら)なった直径(ちよっけい)130mの馬蹄形(ばていがた)の貝塚(かいづか)です。正解は「お宝ベスト5」1つ目、②クジラですね。